

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 全員協議会室 担当職員 駒田
日 時	令和5年12月13日(水曜日)		開 議 午前 10 時 00 分 閉 議 午後 2 時 16 分
出席委員	◎木村、○法貴、林、片山、山木、小川、齊藤		
出席理事者	【上下水道部】伊豆田部長 [総務・経営課] 服部課長、廣瀬水道経営係長、中澤下水道経営係長 [お客様サービス課] 鎌江課長、人見副課長兼料金係長事務取扱 [水道課] 吉村課長 [下水道課] 清水課長、中西管渠係長 【産業観光部】松本部長 [農林振興課] 高木課長、中川副課長兼営農推進係長事務取扱、向出担い手支援係長、綾野森林・鳥獣対策係長 [農地整備課] 鹿島課長 【まちづくり推進部】信部部長、清水事業担当部長 [都市計画課] 田中課長、山下副課長兼計画係長事務取扱、佐古主事 [都市整備課] 小西課長、太田主幹 [土木管理課] 森課長		
出席事務局	井上事務局長、駒田主査		
傍聴者	市民 1 名	報道関係者 1 名	議員 10 名 (大西、小林、大石、土岐、富谷、梅本、三上、平本、松山、菱田)

会 議 の 概 要

10:00

1 開議 (木村委員長あいさつ)

[事務局日程説明]

2 所管分付託議案審査 (説明～質疑)

[上下水道部入室]

[上下水道部所管議案審査]

・上下水道部長あいさつ

(1) 第5号議案 令和5年度亀岡市水道事業会計補正予算(第2号)

・所管課長順次説明(歳出・歳入・債務負担行為一括)

10:10

[質疑]

<片山委員>

給与費明細書の記載では一般職の職員数が1名減っているが、定数が減少したのか。

<総務・経営課長>

年度途中で退職があり、現在は1名減の欠員状態となっている。

<片山委員>

定年退職ではなく、若い年代の普通退職なのか。

<総務・経営課長>

自己都合により若手職員が7月頃に退職した。

10:13

(2) 第6号議案 令和5年度亀岡市下水道事業会計補正予算(第1号)

・所管課長順次説明(歳出・歳入・債務負担行為一括)

10:20

[質疑]

<片山委員>

水道事業会計と同様、下水道事業会計においても1名退職があったのか。

<総務・経営課長>

下水道事業会計においても、年度途中で自己都合による若手職員の退職があった。下水道事業会計においては会計年度任用職員の配置換えにより1名増という状況になっている。

<片山委員>

若手職員が年度途中で退職するというのは深刻な問題である。原因について分析しているのか。

<総務・経営課長>

上下水道部としても、業務を行う中で人が財産という思いで取り組んでいるが、個々人の思いの中で業務が合わないこともあるのではないかと思う。また、雇用情勢が売り手市場になっていることもあり、行政と民間事業者の競争において、人材確保が厳しくなっていることも感じている。

<齊藤委員>

大卒の初任給を上げるべきではないのか。

<上下水道部長>

給与は就職や離職における要因の大きな部分を占めているものかと思う。国の基準に準じているものであるが、まだ追いついていない状況であり、給与改定には期待している。

<齊藤委員>

技術職の職員確保も重要であり、賃金の底上げについて要求して欲しい。これは要望としておく。

<小川議員>

債務負担行為に関する調書は、例年この時期に提出されるものか。詳細について説明願う。

<下水道課長>

4月当初から汚泥の運搬を行うため、例年この時期に債務負担行為を諮っている。

10:29

[上下水道部退室]

[産業観光部入室]

[産業観光部所管議案審査]

・産業観光部長あいさつ

(1) 第1号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

・所管課長順次説明(歳出・歳入一括)

10:45

[質疑]

<小川委員>

今後有害鳥獣の捕獲を年度末までに124頭見込んでいるとのことであるが、その根拠は。

<農林振興課長>

田畑のネットにかかる鹿が毎月10頭前後いるので、そこから算出している。

<小川委員>

京丹波町和知の処理施設が閉鎖されるとのことであるが、亀岡市近辺に同様の施設はないのか。

<農林振興課長>

近隣では和知のみである。当該施設には京都府の委託により週3日程度獣医が滞在されていたが、利用率が低く閉鎖されることとなった。利用率の低下による負担金の値上げなどもあったため、費用対効果と輸送にかかる時間を考慮し、市職員が処理する方法が効率的であると考えている。

<小川委員>

市職員の負担も大きくなるかと思うので、広域連携でよい方法を検討いただければと思う。

<木村委員長>

職員が二酸化炭素を用いて処分する際には獣医師免許など必要ないのか。

<農林振興課長>

獣医師免許は必要ない。注射などを用いる場合には免許が必要になる。

<片山委員>

台風7号において被害を受けたビニールハウス等の復旧について、農業者に対する当該補助制度の周知はどのように行ったのか。

<農林振興課長>

J Aの調査や施設共済組合への問合せにより対象者を把握しているほか、自己申告も含まれている。

<齊藤委員>

各事業者において、台風が来ることを把握していながらきちんとビニールハウスを管理できていたのかという疑問もある。補助に当たりその辺りを加味しているのか。

<農林振興課長>

施設共済等への加入の有無により補助率が変わり、加入されているパイプハウスのほうがより手厚い補助となっている。もしもの場合に備えている施設を優先して補助するものである。

<齊藤委員>

何かあった際に全て行政に頼るのではなく、普段から自分たちで管理することも重要なので、その辺りも啓発いただきたい。これは要望としておく。

<法貴副委員長>

狩猟講習会受講補助金に関連して、猟友会における担い手の高齢化なども課題となっている。今回受講された方の年齢層はどうか。

<農林振興課長>

若年層や女性の方の受講もあり、年齢層に偏りはなかった。

<法貴副委員長>

担い手不足解消のためにも、受験料の全額を補助してもよいのではないかと考えるがどうか。

<農林振興課長>

全額補助については回答しかねるが、今まで補助対象としてわな、網の免許取得を推奨してきた一方で、猟友会における銃器所持者の割合が減少してきたということも聞いており、銃器等の免許取得も補助対象とすることを検討していきたい。

<山木委員>

災害復旧費の工事の内容について説明願う。

<農地整備課長>

災害復旧工事費は、西別院町において農地の畦畔が崩壊した箇所と、保津町において水路の護岸が崩れた箇所を復旧したものである。補助金として交付する小規模災害は、東別院町農地における畦畔の復旧や水路の土砂撤去、陥没した農道の復旧などを実施されたものである。

<山木委員>

申請のあった分のみ対応しているのか。

<農地整備課長>

そのとおりである。

<山木委員>

制度を知らない方もいらっしゃるので、周知について徹底願う。

11:01

[産業観光部退室]

[まちづくり推進部入室]

[まちづくり推進部所管議案審査]

・まちづくり推進部長あいさつ

(1) 第1号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

・所管課長順次説明(歳出・歳入一括)

11:06

[質疑]

<齊藤委員>

緑花推進経費の街路樹剪定業務委託について、メタセコイアはとても成長が早くすぐに大きくなる。剪定する経費は今後も増えるのか。

<都市整備課長>

メタセコイアの樹高は最終的に20～30メートルになるが、11メートル前後で安定すると言われている。平成29年に3メートル程度のものを植樹しており、安定するまでの期間は定期的な剪定が必要であると考えている。

<山木委員>

メタセコイアの剪定はどの程度のペースで実施されているのか。

<都市整備課長>

街路樹剪定は、重点路線の12路線において定期的な剪定業務を行っているが、今回対応する市道篠ランプ9号線は定期的な剪定を実施できておらず、樹形が悪くなってきているため補正予算により対応させていただくこととなった。今後は重点路線に組み入れて定期的に剪定を行いたいと考えている。

<山木委員>

メタセコイアは葉が細かく、野菜の中に葉が入ることもある。周囲の農家に影響がないよう配慮いただきたい。これは要望としておく。

<片山委員>

道路維持経費の需用費増について、市民の方からの修繕に関する要望は多いと聞いているが、今回の増額分はどういった修繕によるものなのか。

<土木管理課長>

今回補正予算として計上しているのは、30万円以下で実施する簡易修繕で、側溝やグレーチング、カーブミラー、横断防止策など様々な修繕を行うものである。

<片山委員>

かなり経費が必要になると思うが、より増額することはできないのか。

<土木管理課長>

今年4月から9月までの半年間の傾向から必要な予算額を算出したものであり、今年度はこの事業費で足りると考えている。

<片山委員>

市民からの要望も多いかと思うので、増額も検討してほしい。

11 : 13

[まちづくり推進部退室]

[委員間討議なし]

3 討論～採決

[討論なし]

[採決]

- ・第1号議案 令和5年度亀岡市一般会計補正予算（第5号）所管分
可決・全員
- ・第5号議案 令和5年度亀岡市水道事業会計補正予算（第2号）

可決・全員

- ・第6号議案 令和5年度亀岡市下水道事業会計補正予算（第1号）

可決・全員

[指摘要望等]

<木村委員長>

委員長報告の作成に当たり、指摘要望等があればお願いする。

(意見なし)

<木村委員長>

委員長報告の文言等は、正副委員長に一任願う。

(全員了)

11:24

4 議会だよりの掲載内容について

<木村委員長>

スペースの都合上、本日審議した内容から1～2項目程度になるが、意見を願う。

<齊藤委員>

鳥獣の捕獲頭数が増えていることを記載してはどうか。

<小川委員>

狩猟講習会受講補助金も同じ鳥獣対策事業経費であるので、まとめて掲載してはどうか。

<木村委員長>

鳥獣対策事業経費として、鹿などの捕獲頭数が増えていることと、狩猟講習会受講補助金について掲載することでよいか。

(全員了)

<木村委員長>

文言等は正副委員長に一任願う。

(全員了)

<休憩 11:29～13:00>

5 行政報告

[上下水道部入室]

[上下水道部長あいさつ]

(1) 水道課発注工事における事故について

[水道課長 説明]

13:05

[質疑なし]

13:05

[上下水道部退室]

[まちづくり推進部入室]

[まちづくり推進部事業担当部長あいさつ]

(1) 都市計画区域区分の変更(第7回線引き見直し)について

[都市計画課長 資料に基づき説明]

13:14

[質疑]

<齊藤委員>

こういった計画の情報が公開されると、周辺の土地などを取得され、故意に事業を妨害されることがある。そういった土地の取得を制約することはできないのか。

<都市計画課長>

市から制約を設けることは難しいが、市街化区域に入るまでは市街化調整区域であり、都市計画法の制約はある。また、篠町浄法寺地区など一般保留の地域は土地利用の方向性を決定いただかないと市街化区域に編入できない。方向性を決める上で事業者や地権者との合意が必要になるため、一定の制約になるのではないかと考えている。

<齊藤委員>

地元のことを無視した心無い方もいるので計画が進まないこともあるかと思う。何とかできないかと考えているので、これは要望としておく。

<片山委員>

安町余部地区について、京都府農林水産技術センターの移転に伴う京都府のスポーツ&ウェルネス構想について、スケジュールなどは把握しているのか。

<都市計画課長>

令和9年度を目途に京都府農林水産技術センターを綾部市へ移転され、その用地を開発できるデベロッパーを選定し開発する計画があると聞いているが、詳細なスケジュールなどは把握していない。

<片山委員>

一般保留は特定フレームとは異なるのか。

<都市計画課長>

一般保留は市街化予備軍という扱いであり、土地利用が決まり調整が完了すれば市街化区域に編入するものである。

<齊藤委員>

亀岡市全体で工業用地は整備されるものの、住居用地の計画はないとのことであるが、工場を誘致する際には住宅が必要である。住居用地の整備について京都府へ要望できないのか。

<都市計画課長>

亀岡市は自然減が多く人口は減少傾向にあり、市域の中でも住居系の未利用地があることから、京都府としては今以上に住居系の用地を増やさないという方針である。

<齊藤委員>

京都府では今後労働力が全国で最も不足することになるという調査結果がある。工場を誘致しても労働力がないと意味がないのではないか。

<都市計画課長>

篠インターチェンジ周辺地区や篠町篠洗川地区で工業系の区画整理を計画しているが、その中で試算している数値として、篠インター地区における従業員数は560人程度、そのうち亀岡市内居住者が340人程度と見込んでいる。また、洗川地区では従業員180人程度、市内居住者100人程度と見込んでいる。現在試算している市内居住者の人数であれば、市内に存在する住居系の未利用地を活用すべきというのが京都府の方針である。

<齊藤委員>

住居系の整備についてはぜひ京都府に要望してほしい。これは要望としておく。

13:26

(2) 第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波基本構想(案)について

[都市整備課長 資料に基づき説明]

13:50

個人情報

[質疑] 規定

<齊藤委員>

緑化フェア開催に向けてはできるだけ経費をかけず、自然のままを見ていただければと思う。2市1町で連携して実施されるが、亀岡市で取り組んでいるプラごみゼロなどに他の市町も協力いただけるのか。

<都市整備課長>

南丹市・京丹波町にも協力いただけるようお願いしていきたい。

<齊藤委員>

ぜひ足並みを揃えて取り組んでいただきたい。

<法貴副委員長>

2市1町で実施することによるメリットやデメリットは何か。

<都市整備課長>

京都丹波というブランドを全国に発信できることが大きなメリットであると考えており、連携して観光入込客数を増やしていきたい。デメリットとしては、エリアが広いため各スポットを周遊する交通手段を検討しなければならないと考えている。

<法貴副委員長>

緑化フェア終了後、どのように事業を継承していくか考えはあるのか。

<都市整備課長>

この緑化フェア開催をきっかけに2市1町の連携が強くなっているため、連携してレガシー事業を実施していきたい。

<小川委員>

どの程度の観光入込客数を想定しているのか。

<都市整備課長>

他の地域で開催されている緑化フェアの例によると、今年開催された仙台におけるフェアでは全体で約115万人とメイン会場で約61万人、令和4年度開催の北海道は、北海道全体で約98万人とメイン会場の恵庭市で約34万人、令和3

年度開催の熊本では約168万人が来場されたとのことである。

<小川委員>

交流人口が多くなると交通手段が課題になってくる。新たな地域公共交通計画を策定する中で既存の公共交通を見直していただくこととあわせて、バギーやレンタサイクルなど新たな交通手段についても観光分野とも連携して検討いただきたい。全国都市緑化フェア in 京都丹波基本構想懇談会の委員名簿にかめおか霧の芸術祭の先生もいるが、かめおか霧の芸術祭との連携も想定しているのか。

<都市整備課長>

かめおか霧の芸術祭とも連携する方向で検討している。

<小川委員>

集客について、森の京都DMOや各市町の観光協会などとの連携や、農家民泊など宿泊施設との連携はどのように考えているのか。

<都市整備課長>

遠方から来ていただくこととなるため、宿泊施設の課題などもある。緑化フェアの開催期間中だけではなく今後の課題であると思うので、交通手段などの課題も含めて検討していきたい。

<小川委員>

緑化フェアの開催に向けて、事業の進捗などについては委員会でも随時報告いただきたい。

<木村委員長>

交通手段に関してはJR嵯峨野線が1時間に1本しかないことも問題であり、本数を増やすようJRにも要望してほしい。これは要望としておく。

<小川委員>

構想懇談会にJRも入ってほしいと思う。恵庭市などの事例では、地域の中に事業者が少なく、苗などの調達に苦労したとも聞く。2市1町や事業者で連携して対応いただきたい。これは要望としておく。

<片山委員>

京都・亀岡保津川公園は今後整備実施予定とのことだが、今回のフェア実施に向けてどの程度の整備を想定されているのか。

<都市整備課長>

京都・亀岡保津川公園は現在未整備の状態であるが、フェアの拠点として位置づけており、南側に位置する曾我谷川周辺の湿地帯エリアをフェアまでに整備していきたい。残りの箇所は農地のまま残す予定であり、農地としてのイベントなども開催していきたいと考えている。

<片山委員>

駐車場整備についての計画は。

<まちづくり推進部事業担当部長>

京都・亀岡保津川公園の一部に関係者駐車場を整備したいと考えているが、基本計画の中で計画していきたい。

<片山委員>

大きなイベントであり市役所全体で対応していかなければならないが、実施体制としてマンパワーは足りているのか。

<まちづくり推進部事業担当部長>

今年度は亀岡市から2名、京丹波町、南丹市から職員1名ずつと、兼務の職員も含めて6名が推進協議会という形で業務を行っている。令和6年度以降はさらに

職員を増やす予定である。なお、仙台市の人事担当者に聞いていると、やはり土日祝日のイベント対応なども多く、振替休日など柔軟に対応されているとのことである。

<片山委員>

職員以外のボランティアの協力なども検討されているのか。

<まちづくり推進部事業担当部長>

他地域における事例を聞いていると、無報酬のボランティアの協力も大きいとのことであった。その辺りも基本計画に盛り込んでいきたいと考えている。

<法貴副委員長>

開催期間の想定は。

<まちづくり推進部事業担当部長>

開催は令和8年9月中旬から11月中旬の2か月がコア期間となるが、プレイベントなどで事前にイベントを開催することも想定される。

<法貴副委員長>

広島で開催された緑化フェアでは3月から11月までの期間開催されていた。長期間になると職員負担も大きいと思うが、無理のない範囲でお願いしたい。

<山木委員>

ラフティングや気球などのアクティビティとの連携は検討しているのか。

<都市整備課長>

連携したいと考えているが、基本計画で内容を検討した上で事業者と調整していきたいと考えている。

<山木委員>

サイクリングなどについても拡充いただきたい。また、緑化フェアの開催が一過性のものにならないような展開をお願いする。これは要望としておく。

<林委員>

丹波といえば「丹波篠山」のイメージが大きいので2市1町で連携してそのイメージを払拭いただきたい。全国に発信するよいチャンスである。これは要望としておく。

[まちづくり推進部退室]

14:15

6 その他

<木村委員長>

次回12月18日(月)に委員長報告の確認等を行うのでよろしく願います。

～散会14:16